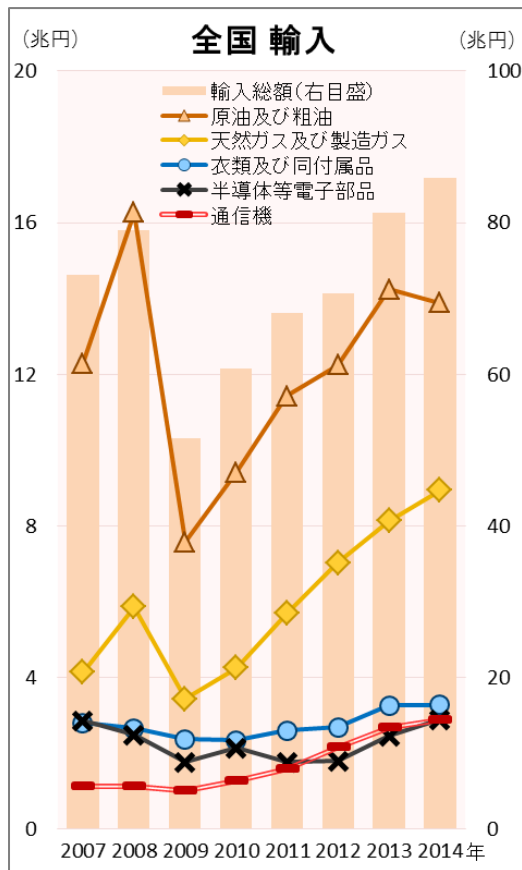


【全国の上位輸入品目】

(単位: 億円)



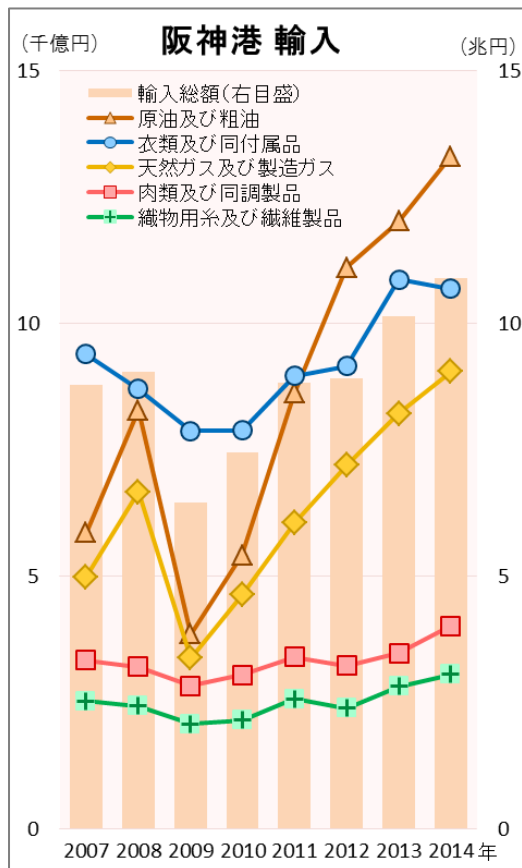
全国輸入		2014年		
		金額	前年比	構成比
総額		859,091	105.7%	100.0%
1	原油及び粗油	138,734	97.4%	16.1%
2	天然ガス及び製造ガス	89,374	109.9%	10.4%
3	衣類及び同付属品	32,602	100.4%	3.8%
4	半導体等電子部品	28,710	117.4%	3.3%
5	通信機	28,652	107.0%	3.3%

全国の上位輸入品目をみると、原油及び粗油が他を大きく引き離してトップ、次いで天然ガス及び製造ガスも他を引き離して第 2 位で推移しています。

2014 年の構成比では、原油及び粗油 16.1%(主に石油製品精製用、発電用など)、天然ガス及び製造ガス 10.4%(主に LNG など)、衣類及び同付属品 3.8%(主にズボン、シャツ、肌着、セーター類など)、半導体等電子部品 3.3%(主に光電性半導体デバイス、IC など)、通信機 3.3%(主にスマートフォンをはじめとする携帯電話など)の順となっています。

【阪神港の上位輸入品目】

(単位: 億円)



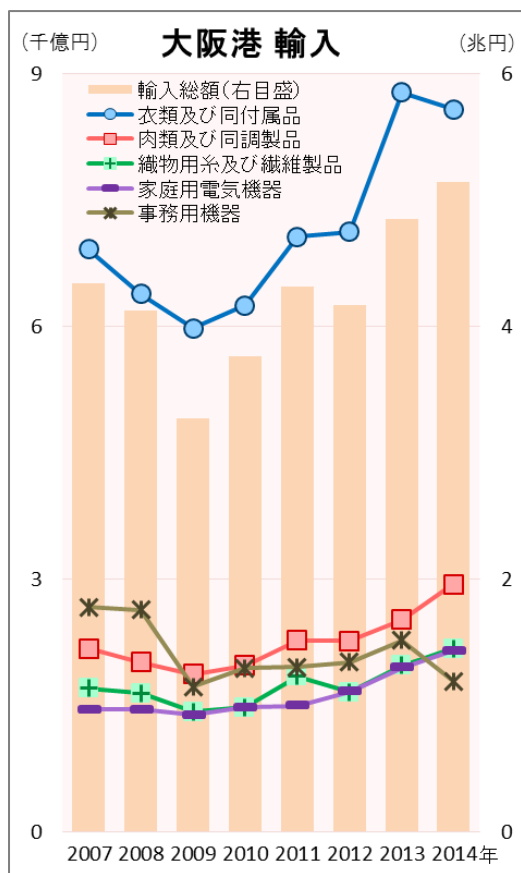
阪神港輸入		2014年			
		金額	前年比	構成比	全国比
総額		108,999	107.4%	100.0%	12.7%
1	原油及び粗油	13,306	110.6%	12.2%	9.6%
2	衣類及び同付属品	10,690	98.3%	9.8%	32.8%
3	天然ガス及び製造ガス	9,047	110.1%	8.3%	10.1%
4	肉類及び同調製品	4,017	115.5%	3.7%	30.1%
5	織物用糸及び繊維製品	3,053	108.3%	2.8%	32.7%

阪神港の上位輸入品目をみると、原油及び粗油(堺泉北港)が 2009 年に大きく落ち込んだものの、2012 年に衣類及び同付属品を抜いてトップとなりました。また、天然ガス及び製造ガス(主に堺泉北港)も大きく伸びています。

2014 年の構成比では、原油及び粗油 12.2%(主に石油製品精製用、発電用など)、衣類及び同付属品 9.8%(主にズボン、シャツ、肌着、セーター類など)、天然ガス及び製造ガス 8.3%(主に LNG など)、肉類及び同調製品 3.7%(主に豚肉、牛肉など)、織物用糸及び繊維製品 2.8%(主に紡織用繊維製品、織物用繊維糸など)の順となっています。

【大阪港の上位輸入品目】

(単位: 億円)



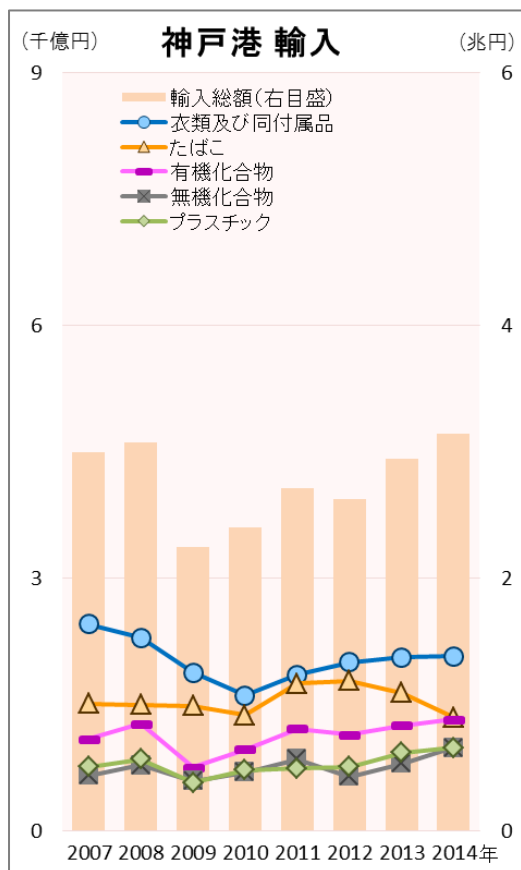
大阪港輸入		2014年			
		金額	前年比	構成比	全国比
総額		51,474	106.0%	100.0%	6.0%
1	衣類及び同付属品	8,583	97.7%	16.7%	26.3%
2	肉類及び同調製品	2,936	116.7%	5.7%	22.0%
3	織物用糸及び繊維製品	2,175	110.1%	4.2%	23.3%
4	家庭用電気機器	2,152	110.4%	4.2%	33.5%
5	事務用機器	1,788	78.6%	3.5%	6.6%

大阪港の上位輸入品目をみると、衣類及び同付属品が他を大きく引き離してトップで推移しています。また、肉類及び同調製品も伸びています。

2014年の構成比では、衣類及び同付属品 16.7% (主にズボン、シャツ、肌着、セーター類など)、肉類及び同調製品 5.7% (主に豚肉、牛肉など)、織物用糸及び繊維製品 4.2% (主に紡織用繊維製品、織物用繊維糸など)、家庭用電気機器 4.2% (主に洗濯機、掃除機、冷蔵庫、電子レンジなど)、事務用機器 3.5% (主にプリンター、パソコン、サーバーなど) の順となっています。

【神戸港の上位輸入品目】

(単位: 億円)

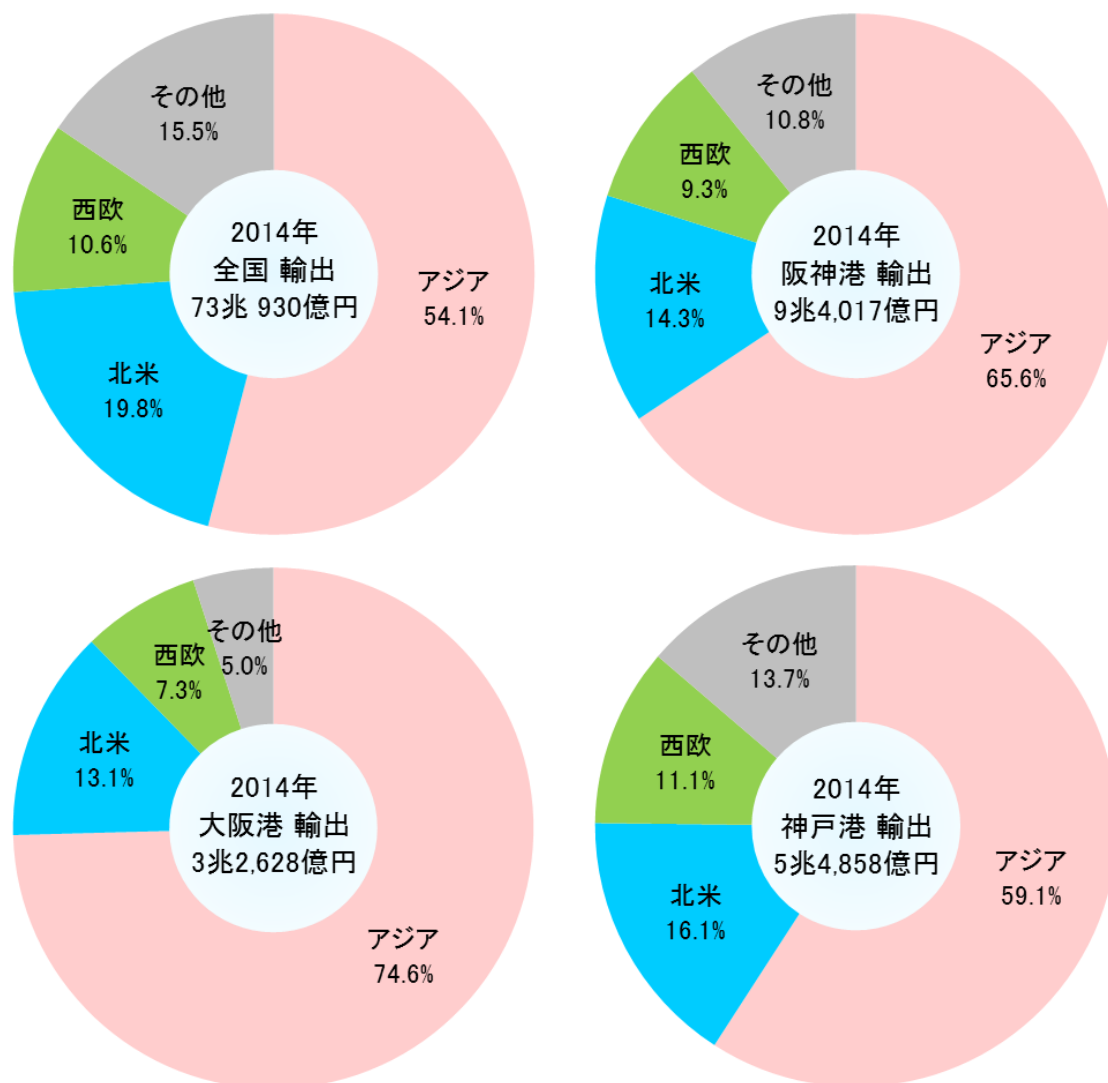


神戸港輸入		2014年			
		金額	前年比	構成比	全国比
総額		31,416	106.6%	100.0%	3.7%
1	衣類及び同付属品	2,072	100.7%	6.6%	6.4%
2	たばこ	1,344	82.1%	4.3%	33.7%
3	有機化合物	1,318	105.5%	4.2%	8.5%
4	無機化合物	986	123.7%	3.1%	15.8%
5	プラスチック	982	105.9%	3.1%	10.2%

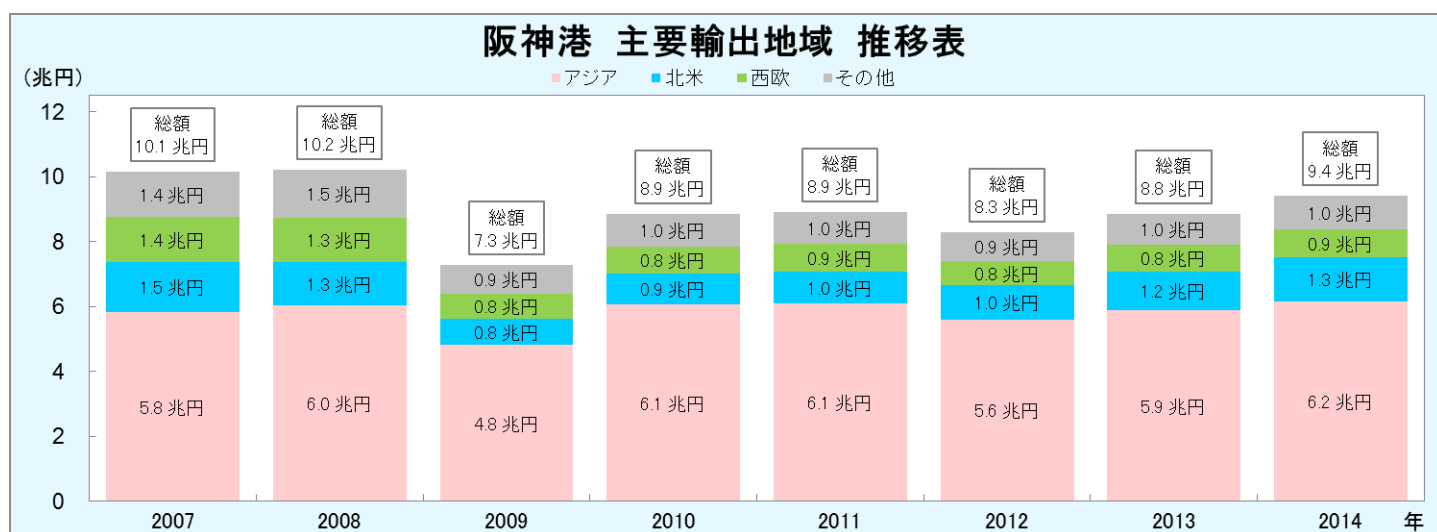
神戸港の上位輸入品目をみると、衣類及び同付属品がほぼ横ばいながらもトップで推移しています。また、たばこが2009年以降、第2位で推移していますが、ここ数年は減少傾向にあります。

2014年の構成比では、衣類及び同付属品 6.6% (主にズボン、シャツ、肌着、セーター類など)、たばこ 4.3% (主に紙巻たばこなど)、有機化合物 4.2% (主にプラスチックや医薬品の原料など)、無機化合物 3.1% (主にけい素(シリコン)など)、プラスチック 3.1% (主にペットボトルやプラスチックシートの原料など) の順となっています。

【輸出の地域別構成比】

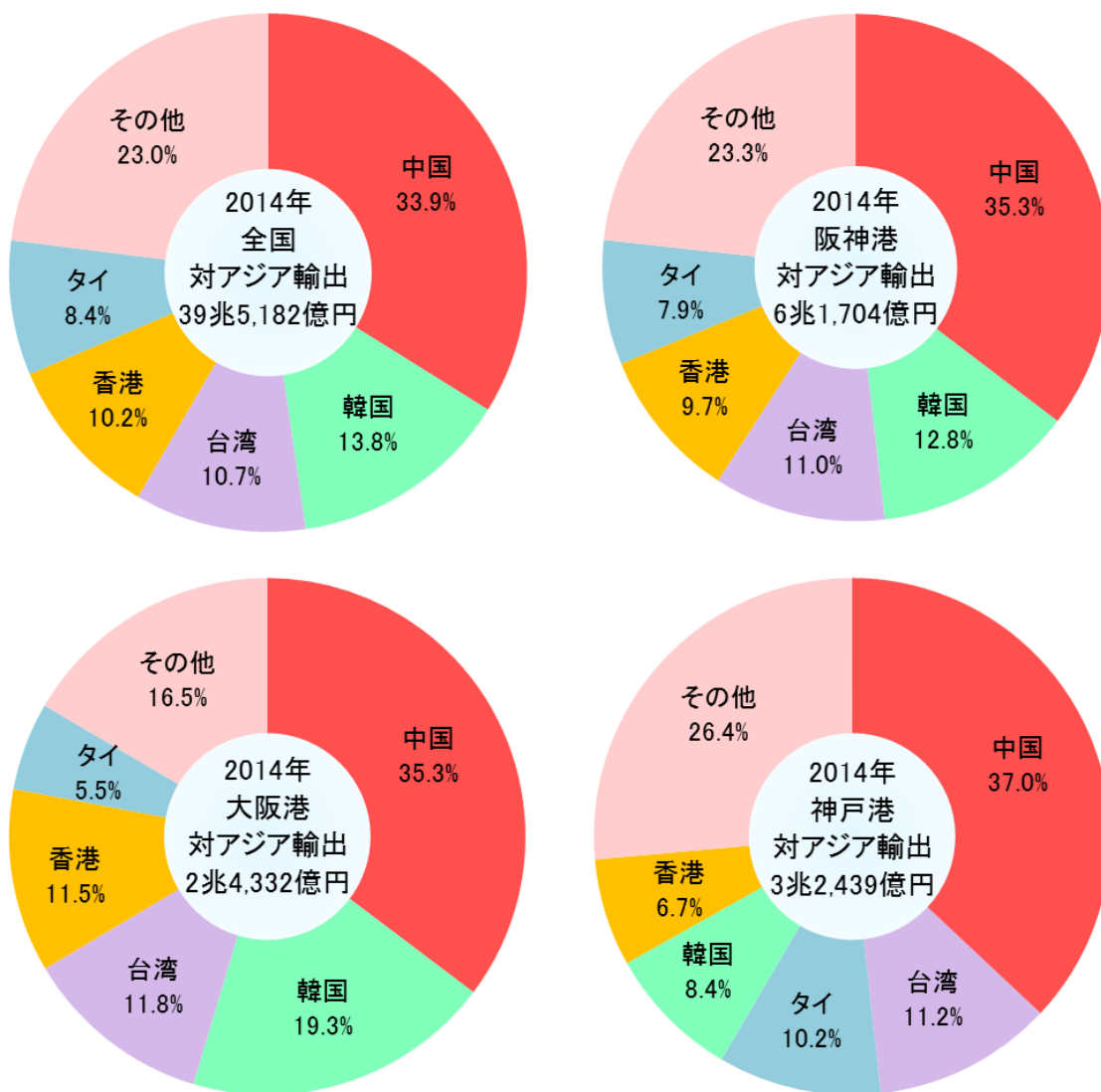


2014年の輸出相手を地域別に比べてみたところ、全国の輸出構成比の第1位はアジアで54.1%となっており、日本の輸出は主にアジアに対して行われていることが分かります。阪神港は全国に比べ、よりアジアへの構成比が高くなっていますが、阪神港の中でも特に大阪港は74.6%がアジア向けの輸出となっています。

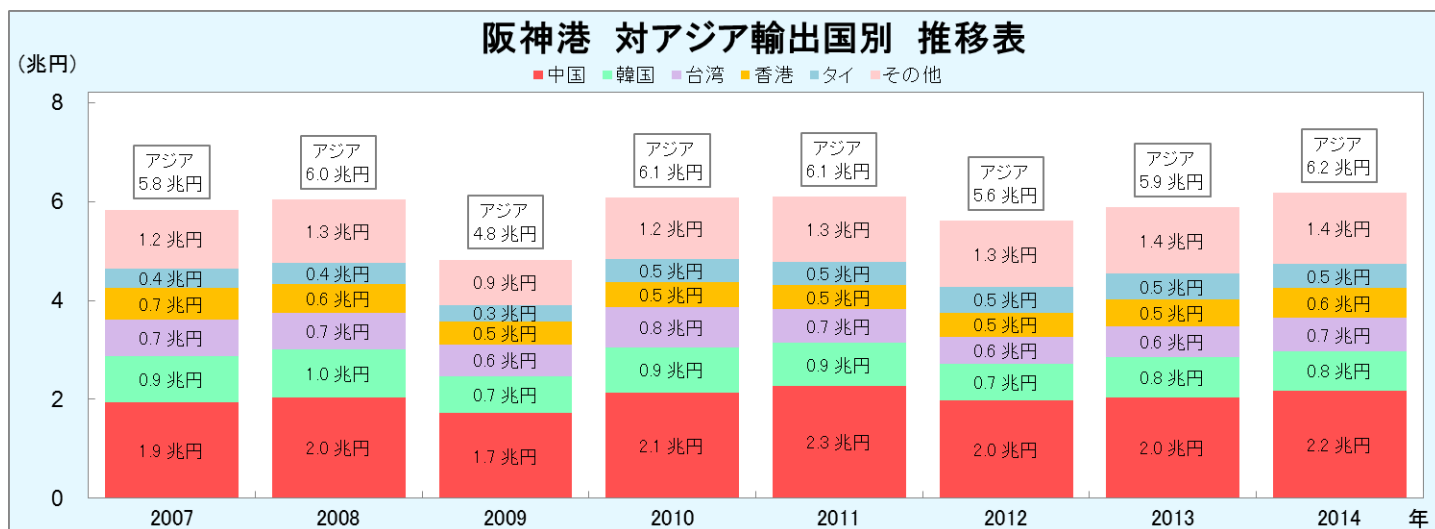


阪神港の輸出相手地域の推移をみると、アジアとの繋がりの強さが分かります。また、全体の輸出額のうち、アジア向けの輸出に関してはリーマン・ショック以前より大きい輸出額となっています。

【対アジア輸出の国別構成比】

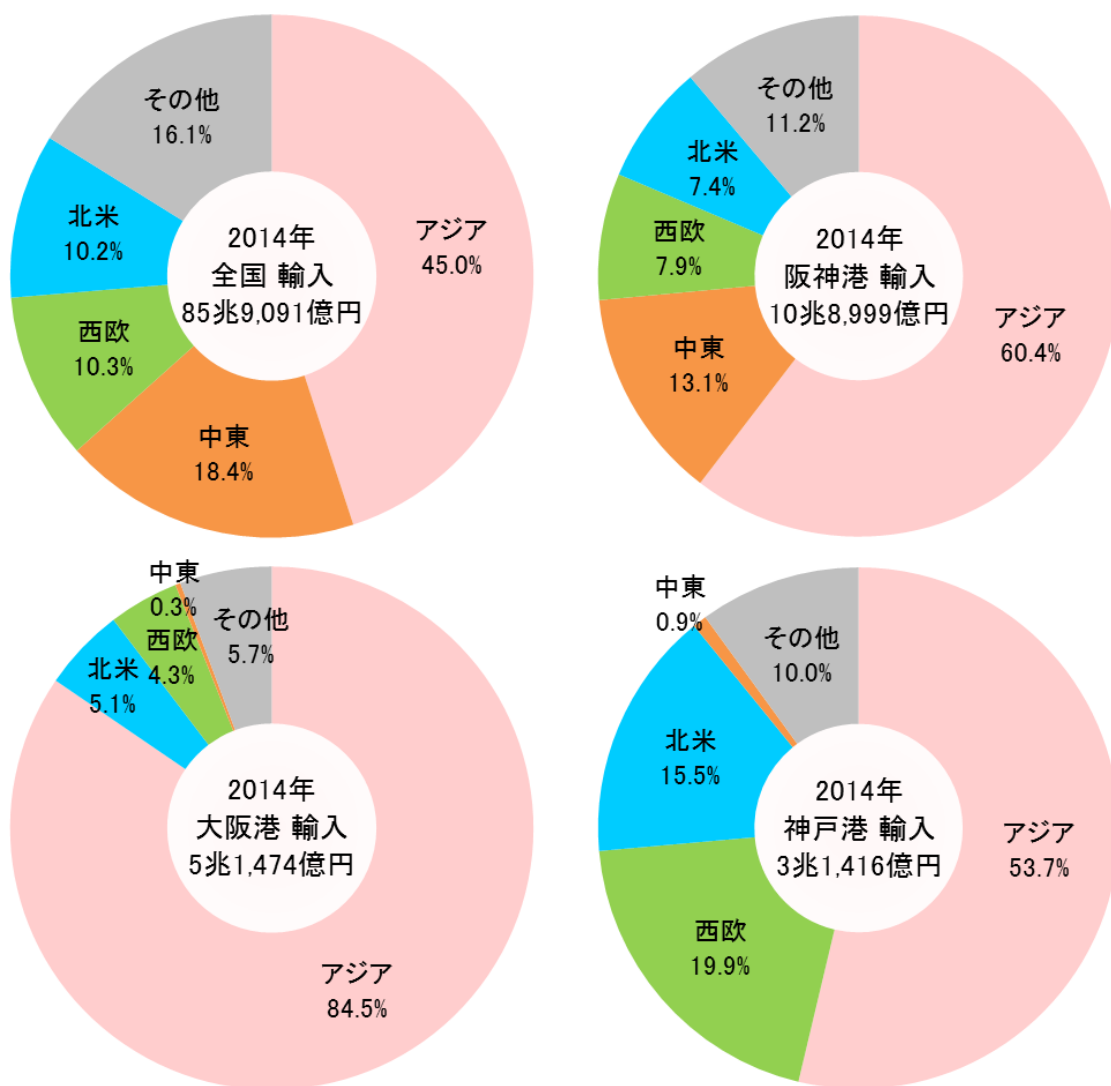


2014年の対アジア輸出を国別にみると、阪神港は全国とほぼ同じような構成となっており、日本の輸出はアジアの中でも主に中国に対して行われていることが分かります。中国のほか、全国に比べて大阪港は韓国、台湾、香港などへの輸出の構成比が高く、神戸港は台湾、タイなどへの輸出の構成比が高くなっていることが分かります。

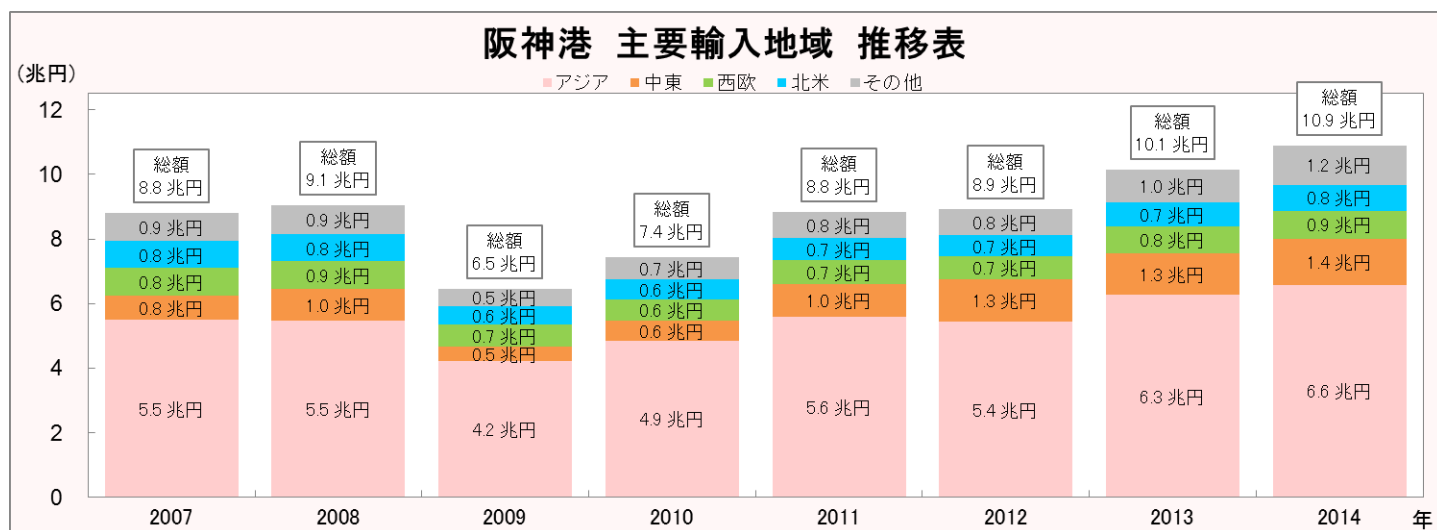


阪神港の対アジア輸出相手国の推移をみても、中国との繋がりが強いことが分かります。

【輸入の地域別構成比】

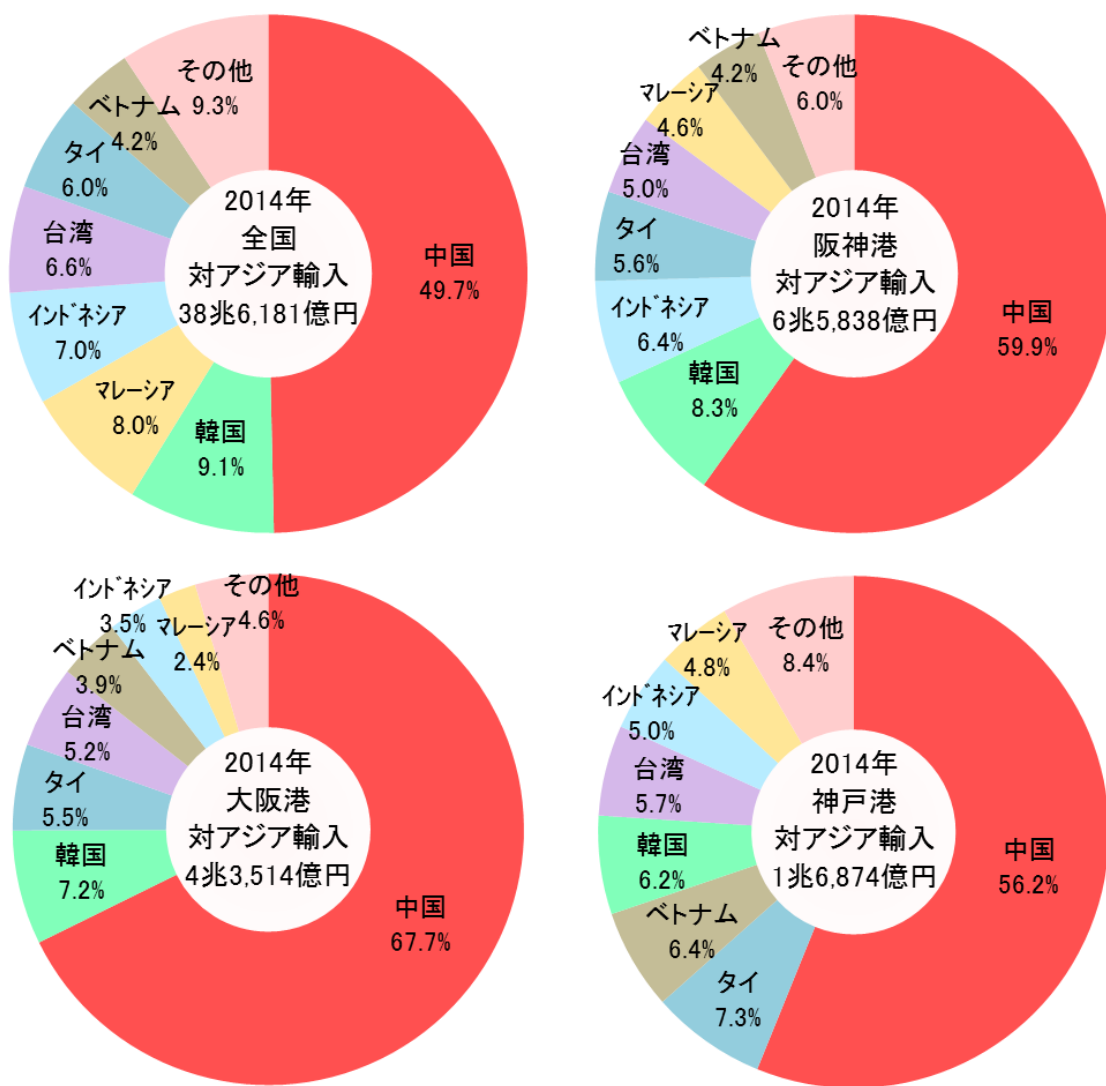


2014 年の輸入相手を地域別に比べてみたところ、全国では原油及び粗油の輸入が多い中東の構成比が 18.4%と高く、輸出に比べてアジアの構成比が低くなっていることが分かります。阪神港でも同様の傾向がみられますが、大阪港・神戸港はともに中東との貿易が少なく、中東の構成比は低くなっています。そのため、特に大阪港は輸出に比べてアジアの構成比が高くなっています。

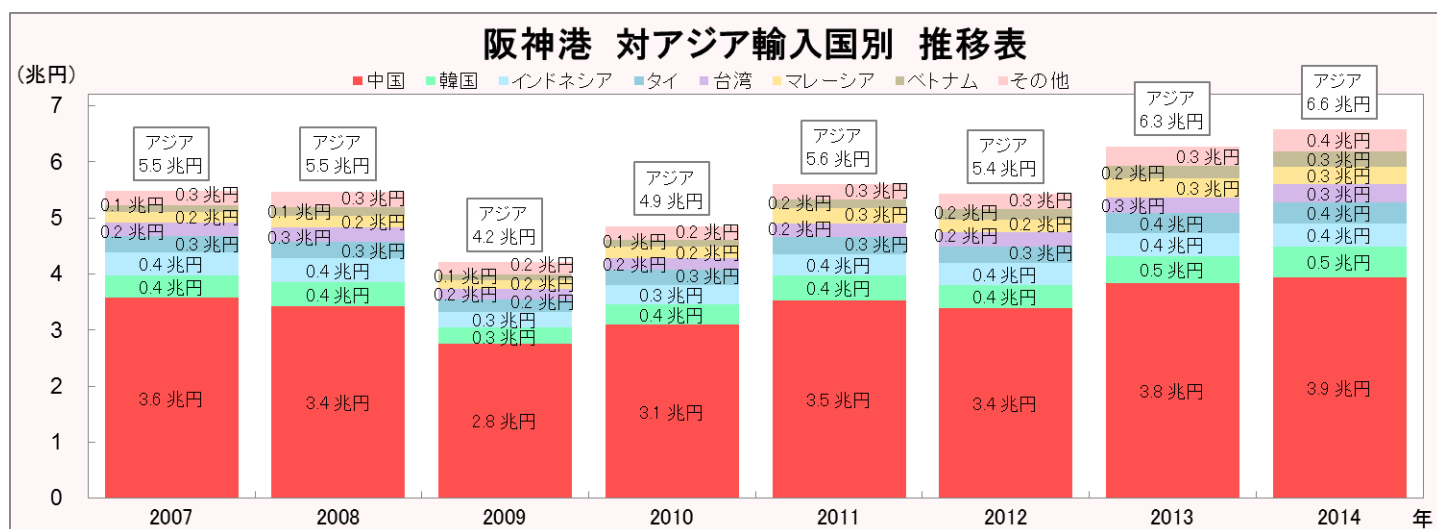


阪神港の輸入相手地域の推移をみると、輸出と同様にアジアとの繋がりの強さが分かります。また、近年は中東の輸入が伸びていることも分かります。

【対アジア輸入の国別構成比】



2014 年の対アジア輸入を国別にみたところ、阪神港は全国と比べて中国の構成比が高くなっています。特に大阪港は中国の構成比が 67.7%を占めており、中国との繋がりが強いことが分かります。また、神戸港は中国、タイ、ベトナムの構成比が高くなっています。



阪神港の対アジア輸入相手国の推移をみると、中国の構成比が高い傾向が続いているものの、近年では韓国、台湾、ベトナムなどの輸入が伸びてきていることが分かります。

【おわりに】

2004 年(平成 16 年)に阪神港(大阪港、神戸港)がスーパー中枢港湾に指定されてから 10 年が経ち、その間様々な施策や法改正が行われました。現在、阪神港は国際戦略港湾として位置付けられています。

阪神港には、大阪税関管轄の「大阪港」、「堺泉北港」と神戸税関管轄の「神戸港」、「尼崎西宮芦屋港」があります。そして、それぞれの港に特徴があり、その実態が輸出入品目にも表れています。

2008 年(平成 20 年)に起こったリーマン・ショックによって阪神港も輸出入ともに大幅に減少することとなり、大きな打撃を受けました。その後、輸入については原油及び粗油、天然ガス及び製造ガス等の増大により、リーマン・ショック前の水準を超え過去最高額となっています。他方、輸出については、中国を中心としたアジア貿易を背景にリーマン・ショック前の水準に戻りつつあります。また、プラスチックや科学光学機器といった上位輸出品目の中にリーマン・ショック前の水準を既に超えたものもあります。

今回、大阪、神戸両税関において、双方にまたがる「阪神港」について共同で調査し、少しでも理解していただこうと思って企画しましたが、いかがでしたでしょうか。阪神港というくくりの中で、それぞれの港の特性を生かしながら、今後とも益々阪神港の貿易が発展していくことを期待したいところです。



※本資料を他に転載するときは、

大阪税関・神戸税関の資料に基づく旨を注記してください。

※本資料に関するお問い合わせ

- ・大阪税関調査部調査統計課（電話 06-6966-5385）
- ・神戸税関調査部調査統計課（電話 078-333-3065）

大阪税関ホームページ (<http://www.customs.go.jp/osaka/>)

神戸税関ホームページ (<http://www.customs.go.jp/kobe/>)